

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 5
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/32.0, 1.0/1.0,
時間割コード / Time schedule code	202505810030A7	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（環境） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	五島 聖子 / Goto Seiko		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	五島 聖子 / Goto Seiko		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	五島 聖子 / Goto Seiko		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 編入学生教養教育科目認定単位, 教養ゼミナール科目, 教職に関する科目（第2欄）, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	環境科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	担当教員に確認すること		
担当教員研究室/Office	各担当教員の研究室については、学生便覧を参照すること		
担当教員TEL/Tel	担当教員に確認すること		
担当教員オフィスアワー/Office hours	担当教員に確認すること		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文社会科学的または自然科学的な思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。 以上の授業概要及び位置づけに基づき、授業内容では以下を取り上げる。 自立的な学びの仕組み（アクティブラーニングとは何か、学修ポートフォリオの位置づけ、総合評価、各学部・コースのディプロマポリシーの周知、カリキュラムマップ・ツリーの説明） 文章の書き方（アカデミック・ライティング、クリティカル・ライティング） 文章の読み方（クリティカル・リーディング） 情報リテラシーとモラル（引用の仕方、不正行為（剽窃・盗用）、情報リテラシー、教員への質問の仕方（研究室の訪問の仕方、オフィスアワーとは何か、メールの書き方を含む）） 著作権 生成AIの概念と応用 社会におけるデータ・AI等の活用事例 図書館資料収集ガイダンス 課題発見、リサーチクエスト、問題関心（テーマ）の選択など プレゼンテーションの方法 ディスカッションの方法		
授業到達目標 / Course goals	論理的・批判的に物事を考えることができる。（環境科学部DP-2） 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。（環境科学部DP-5） ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自己表現ができるようになる。（環境科学部DP-2）		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで） / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		

学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取り組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加（2点×15回＝30点）＋中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答（20点×2回＝40点）＋レポート（30点×1回）＝合計100点のうち60点を合格とする。
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：グループワークとしての情報収集、資料作成、情報共有、問題点提起のための思考（1h） 事後学習：グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく、情報・資料の質の吟味＋演習での教授事項の振り返り（復習）（1h）
キーワード/Keywords	人文社会科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、自己表現能力
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ、必要があれば随時指示する。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション：担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明、消費者教育等（対面）
第2回	環境科学入門：担当教員による学部教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど（対面）
第3回	国際交流委員会による留学案内（オンデマンド）
第4回	グループ分け、グループワークテーマの決定（対面）
第5回	グループワークの開始（１）（対面）
第6回	図書館資料収集ガイダンス（対面）
第7回	グループワーク（２）（対面）
第8回	グループワーク（３）（対面）
第9回	グループワーク（４）（対面）
第10回	著作権教育（対面）
第11回	生成AIの概念と応用、社会におけるデータ・AI等の活用事例に関する教育（対面）
第12回	グループワーク（５）、教務委員会によるポートフォリオの使い方の説明と実践（対面）
第13回	グループワーク（６）（対面）
第14回	グループワーク（７）（対面）
第15回	最終報告会の実施（プレゼンテーションと質疑応答）、レポートの提出、まとめ（講評、総括）（対面）

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 5
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/32.0, 1.0/1.0,
時間割コード / Time schedule code	202505810030A8	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（環境） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	和達 容子 / Wadachi Yoko		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	和達 容子 / Wadachi Yoko		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	和達 容子 / Wadachi Yoko		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 編入学生教養教育科目認定単位, 教養ゼミナール科目, 教職に関する科目（第2欄）, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	環境科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	担当教員に確認すること		
担当教員研究室/Office	各担当教員の研究室については、学生便覧を参照すること		
担当教員TEL/Tel	担当教員に確認すること		
担当教員オフィスアワー/Office hours	担当教員に確認すること		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文社会科学的または自然科学的な思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。 以上の授業概要及び位置づけに基づき、授業内容では以下を取り上げる。 自主的な学びの仕組み（アクティブラーニングとは何か、学修ポートフォリオの位置づけ、総合評価、各学部・コースのディプロマポリシーの周知、カリキュラムマップ・ツリーの説明） 文章の書き方（アカデミック・ライティング、クリティカル・ライティング） 文章の読み方（クリティカル・リーディング） 情報リテラシーとモラル（引用の仕方、不正行為（剽窃・盗用）、情報リテラシー、教員への質問の仕方（研究室の訪問の仕方、オフィスアワーとは何か、メールの書き方を含む）） 著作権 生成AIの概念と応用 社会におけるデータ・AI等の活用事例 図書館資料収集ガイダンス 課題発見、リサーチクエスト、問題関心（テーマ）の選択など プレゼンテーションの方法 ディスカッションの方法		
授業到達目標 / Course goals	論理的・批判的に物事を考えることができる。（環境科学部DP-2） 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。（環境科学部DP-5） ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自己表現ができるようになる。（環境科学部DP-2）		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで） / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		

学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取り組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加（2点×15回＝30点）＋中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答（20点×2回＝40点）＋レポート（30点×1回）＝合計100点のうち60点を合格とする。
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：グループワークとしての情報収集、資料作成、情報共有、問題点提起のための思考（1h） 事後学習：グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく、情報・資料の質の吟味＋演習での教授事項の振り返り（復習）（1h）
キーワード/Keywords	人文社会科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、自己表現能力
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ、必要があれば随時指示する。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション：担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明、消費者教育等（対面）
第2回	環境科学入門：担当教員による学部教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど（対面）
第3回	国際交流委員会による留学案内（オンデマンド）
第4回	グループ分け、グループワークテーマの決定（対面）
第5回	グループワークの開始（１）（対面）
第6回	図書館資料収集ガイダンス（対面）
第7回	グループワーク（２）（対面）
第8回	グループワーク（３）（対面）
第9回	グループワーク（４）（対面）
第10回	著作権教育（対面）
第11回	生成AIの概念と応用、社会におけるデータ・AI等の活用事例に関する教育（対面）
第12回	グループワーク（５）、教務委員会によるポートフォリオの使い方の説明と実践（対面）
第13回	グループワーク（６）（対面）
第14回	グループワーク（７）（対面）
第15回	最終報告会の実施（プレゼンテーションと質疑応答）、レポートの提出、まとめ（講評、総括）（対面）

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 5
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/32.0, 1.0/1.0,
時間割コード / Time schedule code	202505810030A9	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー(環境) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	関 陽子 / Seki Yoko		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	関 陽子 / Seki Yoko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	関 陽子 / Seki Yoko		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 編入学生教養教育科目認定単位, 教養ゼミナール科目, 教職に関する科目(第2欄), 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	環境科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	担当教員に確認すること		
担当教員研究室 / Office	環境科学部4階 425室		
担当教員TEL / Tel	0958192736		
担当教員オフィスアワー / Office hours	木曜日5限		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文社会科学的または自然科学的な思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。 以上の授業概要及び位置づけに基づき、授業内容では以下を取り上げる。 自立的な学びの仕組み(アクティブラーニングとは何か、学修ポートフォリオの位置づけ、総合評価、各学部・コースのディプロマポリシーの周知、カリキュラムマップ・ツリーの説明) 文章の書き方(アカデミック・ライティング、クリティカル・ライティング) 文章の読み方(クリティカル・リーディング) 情報リテラシーとモラル(引用の仕方、不正行為(剽窃・盗用)、情報リテラシー、教員への質問の仕方(研究室の訪問の仕方、オフィスアワーとは何か、メールの書き方を含む)) 著作権 生成AIの概念と応用 社会におけるデータ・AI等の活用事例 図書館資料収集ガイダンス 課題発見、リサーチクエスト、問題関心(テーマ)の選択など プレゼンテーションの方法 ディスカッションの方法		
授業到達目標 / Course goals	論理的・批判的に物事を考えることができる。(環境科学部DP-2) 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。(環境科学部DP-5) ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自己表現ができるようになる。(環境科学部DP-2)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		

学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取り組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加（2点×15回＝30点）＋中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答（20点×2回＝40点）＋レポート（30点×1回）＝合計100点のうち60点を合格とする。
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：グループワークとしての情報収集、資料作成、情報共有、問題点提起のための思考（1h） 事後学習：グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく、情報・資料の質の吟味＋演習での教授事項の振り返り（復習）（1h）
キーワード/Keywords	人文社会科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、自己表現能力
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ、必要があれば随時指示する。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション：担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明、消費者教育等（対面）
第2回	環境科学入門：担当教員による学部教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど（対面）
第3回	国際交流委員会による留学案内（オンデマンド）
第4回	グループ分け、グループワークテーマの決定（対面）
第5回	グループワークの開始（１）（対面）
第6回	図書館資料収集ガイダンス（対面）
第7回	グループワーク（２）（対面）
第8回	グループワーク（３）（対面）
第9回	グループワーク（４）（対面）
第10回	著作権教育（対面）
第11回	生成AIの概念と応用、社会におけるデータ・AI等の活用事例に関する教育（対面）
第12回	グループワーク（５）、教務委員会によるポートフォリオの使い方の説明と実践（対面）
第13回	グループワーク（６）（対面）
第14回	グループワーク（７）（対面）
第15回	最終報告会の実施（プレゼンテーションと質疑応答）、レポートの提出、まとめ（講評、総括）（対面）

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/32.0, 1.0/1.0,
時間割コード / Time schedule code	202505810030B1	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（環境） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	竹下 貴之 / Takayuki Takeshita		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	竹下 貴之 / Takayuki Takeshita		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	竹下 貴之 / Takayuki Takeshita		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 編入学生教養教育科目認定単位, 教養ゼミナール科目, 教職に関する科目（第2欄）, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	環境科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	担当教員に確認すること		
担当教員研究室/Office	各担当教員の研究室については、学生便覧を参照すること		
担当教員TEL/Tel	担当教員に確認すること		
担当教員オフィスアワー/Office hours	担当教員に確認すること		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文社会科学的または自然科学的な思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。 以上の授業概要及び位置づけに基づき、授業内容では以下を取り上げる。 自立的な学びの仕組み（アクティブラーニングとは何か、学修ポートフォリオの位置づけ、総合評価、各学部・コースのディプロマポリシーの周知、カリキュラムマップ・ツリーの説明） 文章の書き方（アカデミック・ライティング、クリティカル・ライティング） 文章の読み方（クリティカル・リーディング） 情報リテラシーとモラル（引用の仕方、不正行為（剽窃・盗用）、情報リテラシー、教員への質問の仕方（研究室の訪問の仕方、オフィスアワーとは何か、メールの書き方を含む）） 著作権 生成AIの概念と応用 社会におけるデータ・AI等の活用事例 図書館資料収集ガイダンス 課題発見、リサーチクエスト、問題関心（テーマ）の選択など プレゼンテーションの方法 ディスカッションの方法		
授業到達目標 / Course goals	論理的・批判的に物事を考えることができる。（環境科学部DP-2） 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。（環境科学部DP-5） ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自己表現ができるようになる。（環境科学部DP-2）		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで） / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		

学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取り組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加（2点×15回＝30点）＋中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答（20点×2回＝40点）＋レポート（30点×1回）＝合計100点のうち60点を合格とする。
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：グループワークとしての情報収集、資料作成、情報共有、問題点提起のための思考（1h） 事後学習：グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく、情報・資料の質の吟味＋演習での教授事項の振り返り（復習）（1h）
キーワード/Keywords	人文社会科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、自己表現能力
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ、必要があれば随時指示する。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	竹下貴之／科学技術庁、文部科学省、科学技術政策研究所
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション：担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明、消費者教育等（対面）
第2回	環境科学入門：担当教員による学部教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど（対面）
第3回	国際交流委員会による留学案内（オンデマンド）
第4回	グループ分け、グループワークテーマの決定（対面）
第5回	グループワークの開始（１）（対面）
第6回	図書館資料収集ガイダンス（対面）
第7回	グループワーク（２）（対面）
第8回	グループワーク（３）（対面）
第9回	グループワーク（４）（対面）
第10回	著作権教育（対面）
第11回	生成AIの概念と応用、社会におけるデータ・AI等の活用事例に関する教育（対面）
第12回	グループワーク（５）、教務委員会によるポートフォリオの使い方の説明と実践（対面）
第13回	グループワーク（６）（対面）
第14回	グループワーク（７）（対面）
第15回	最終報告会の実施（プレゼンテーションと質疑応答）、レポートの提出、まとめ（講評、総括）（対面）

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 5
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/32.0, 1.0/1.0,
時間割コード / Time schedule code	202505810030B2	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（環境） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	遠藤 愛子 / ENDO Aiko		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	遠藤 愛子 / ENDO Aiko		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	遠藤 愛子 / ENDO Aiko		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 編入学生教養教育科目認定単位, 教養ゼミナール科目, 教職に関する科目（第2欄）, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	環境科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	担当教員に確認すること		
担当教員研究室/Office	各担当教員の研究室については、学生便覧を参照すること		
担当教員TEL/Tel	担当教員に確認すること		
担当教員オフィスアワー/Office hours	担当教員に確認すること		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文社会科学的または自然科学的な思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。 以上の授業概要及び位置づけに基づき、授業内容では以下を取り上げる。 自立的な学びの仕組み（アクティブラーニングとは何か、学修ポートフォリオの位置づけ、総合評価、各学部・コースのディプロマポリシーの周知、カリキュラムマップ・ツリーの説明） 文章の書き方（アカデミック・ライティング、クリティカル・ライティング） 文章の読み方（クリティカル・リーディング） 情報リテラシーとモラル（引用の仕方、不正行為（剽窃・盗用）、情報リテラシー、教員への質問の仕方（研究室の訪問の仕方、オフィスアワーとは何か、メールの書き方を含む）） 著作権 生成AIの概念と応用 社会におけるデータ・AI等の活用事例 図書館資料収集ガイダンス 課題発見、リサーチクエスション、問題関心（テーマ）の選択など プレゼンテーションの方法 ディスカッションの方法		
授業到達目標 / Course goals	論理的・批判的に物事を考えることができる。（環境科学部DP-2） 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。（環境科学部DP-5） ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自己表現ができるようになる。（環境科学部DP-2）		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで） / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■ 主体性 / Autonomy ■ 協働性 / Cooperativeness ■ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		

学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取り組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加（2点×15回＝30点）＋中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答（20点×2回＝40点）＋レポート（30点×1回）＝合計100点のうち60点を合格とする。
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：グループワークとしての情報収集、資料作成、情報共有、問題点提起のための思考（1h） 事後学習：グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく、情報・資料の質の吟味＋演習での教授事項の振り返り（復習）（1h）
キーワード/Keywords	人文社会科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、自己表現能力
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ、必要があれば随時指示する。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション：担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明、消費者教育等（対面）
第2回	環境科学入門：担当教員による学部教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど（対面）
第3回	国際交流委員会による留学案内（オンデマンド）
第4回	グループ分け、グループワークテーマの決定（対面）
第5回	グループワークの開始（１）（対面）
第6回	図書館資料収集ガイダンス（対面）
第7回	グループワーク（２）（対面）
第8回	グループワーク（３）（対面）
第9回	グループワーク（４）（対面）
第10回	著作権教育（対面）
第11回	生成AIの概念と応用、社会におけるデータ・AI等の活用事例に関する教育（対面）
第12回	グループワーク（５）、教務委員会によるポートフォリオの使い方の説明と実践（対面）
第13回	グループワーク（６）（対面）
第14回	グループワーク（７）（対面）
第15回	最終報告会の実施（プレゼンテーションと質疑応答）、レポートの提出、まとめ（講評、総括）（対面）

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 5
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/32.0, 1.0/1.0,
時間割コード / Time schedule code	202505810030B3	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（環境） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	馬 騰 / Teng Ma		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	馬 騰 / Teng Ma		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	馬 騰 / Teng Ma		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 編入学生教養教育科目認定単位, 教養ゼミナール科目, 教職に関する科目（第2欄）, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	環境科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	mateng▲nagasaki-u.ac.jp（メールをする際は、▲を@に置き換えてください。）		
担当教員研究室 / Office	環451号室		
担当教員TEL/Tel	mateng▲nagasaki-u.ac.jp（メールをする際は、▲を@に置き換えてください。）		
担当教員オフィスアワー / Office hours	事前連絡があれば随時適宜対応		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文社会科学的または自然科学的な思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。 以上の授業概要及び位置づけに基づき、授業内容では以下を取り上げる。 自立的な学びの仕組み（アクティブラーニングとは何か、学修ポートフォリオの位置づけ、総合評価、各学部・コースのディプロマポリシーの周知、カリキュラムマップ・ツリーの説明） 文章の書き方（アカデミック・ライティング、クリティカル・ライティング） 文章の読み方（クリティカル・リーディング） 情報リテラシーとモラル（引用の仕方、不正行為（剽窃・盗用）、情報リテラシー、教員への質問の仕方（研究室の訪問の仕方、オフィスアワーとは何か、メールの書き方を含む）） 著作権 生成AIの概念と応用 社会におけるデータ・AI等の活用事例 図書館資料収集ガイダンス 課題発見、リサーチクエスション、問題関心（テーマ）の選択など プレゼンテーションの方法 ディスカッションの方法		
授業到達目標 / Course goals	論理的・批判的に物事を考えることができる。（環境科学部DP-2） 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。（環境科学部DP-5） ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自己表現ができるようになる。（環境科学部DP-2）		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで） / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		

学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取り組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加（2点×15回＝30点）＋中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答（20点×2回＝40点）＋レポート（30点×1回）＝合計100点のうち60点を合格とする。
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：グループワークとしての情報収集、資料作成、情報共有、問題点提起のための思考（1h） 事後学習：グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく、情報・資料の質の吟味＋演習での教授事項の振り返り（復習）（1h）
キーワード/Keywords	人文社会科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、自己表現能力
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ、必要があれば随時指示する。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション：担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明、消費者教育等（対面）
第2回	環境科学入門：担当教員による学部教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど（対面）
第3回	国際交流委員会による留学案内（オンデマンド）
第4回	グループ分け、グループワークテーマの決定（対面）
第5回	グループワークの開始（１）（対面）
第6回	図書館資料収集ガイダンス（対面）
第7回	グループワーク（２）（対面）
第8回	グループワーク（３）（対面）
第9回	グループワーク（４）（対面）
第10回	著作権教育（対面）
第11回	生成AIの概念と応用、社会におけるデータ・AI等の活用事例に関する教育（対面）
第12回	グループワーク（５）、教務委員会によるポートフォリオの使い方の説明と実践（対面）
第13回	グループワーク（６）（対面）
第14回	グループワーク（７）（対面）
第15回	最終報告会の実施（プレゼンテーションと質疑応答）、レポートの提出、まとめ（講評、総括）（対面）

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/32.0, 1.0/1.0,
時間割コード / Time schedule code	202505810030B4	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（環境） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大田 真彦 / OTA Masahiko		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	大田 真彦 / OTA Masahiko		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	大田 真彦 / OTA Masahiko		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 編入学生教養教育科目認定単位, 教養ゼミナール科目, 教職に関する科目（第2欄）, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	環境科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	masahikoota▲nagasaki-u.ac.jp（メールをする際は、▲を@に置き換えてください。）		
担当教員研究室/Office	環454		
担当教員TEL/Tel	095-819-2731		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにて予約をしてください		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文社会科学的または自然科学的な思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。 以上の授業概要及び位置づけに基づき、授業内容では以下を取り上げる。 自主的な学びの仕組み（アクティブラーニングとは何か、学修ポートフォリオの位置づけ、総合評価、各学部・コースのディプロマポリシーの周知、カリキュラムマップ・ツリーの説明） 文章の書き方（アカデミック・ライティング、クリティカル・ライティング） 文章の読み方（クリティカル・リーディング） 情報リテラシーとモラル（引用の仕方、不正行為（剽窃・盗用）、情報リテラシー、教員への質問の仕方（研究室の訪問の仕方、オフィスアワーとは何か、メールの書き方を含む）） 著作権 生成AIの概念と応用 社会におけるデータ・AI等の活用事例 図書館資料収集ガイダンス 課題発見、リサーチクエスト、問題関心（テーマ）の選択など プレゼンテーションの方法 ディスカッションの方法		
授業到達目標/Course goals	論理的・批判的に物事を考えることができる。（環境科学部DP-2） 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。（環境科学部DP-5） ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自己表現ができるようになる。（環境科学部DP-2）		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		

学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取り組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加（2点×15回＝30点）＋中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答（20点×2回＝40点）＋レポート（30点×1回）＝合計100点のうち60点を合格とする。
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：グループワークとしての情報収集、資料作成、情報共有、問題点提起のための思考（1h） 事後学習：グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく、情報・資料の質の吟味＋演習での教授事項の振り返り（復習）（1h）
キーワード/Keywords	人文社会科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、自己表現能力
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ、必要があれば随時指示する。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション：担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明、消費者教育等（対面）
第2回	環境科学入門：担当教員による学部教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど（対面）
第3回	国際交流委員会による留学案内（オンデマンド）
第4回	グループ分け、グループワークテーマの決定（対面）
第5回	グループワークの開始（１）（対面）
第6回	図書館資料収集ガイダンス（対面）
第7回	グループワーク（２）（対面）
第8回	グループワーク（３）（対面）
第9回	グループワーク（４）（対面）
第10回	著作権教育（対面）
第11回	生成AIの概念と応用、社会におけるデータ・AI等の活用事例に関する教育（対面）
第12回	グループワーク（５）、教務委員会によるポートフォリオの使い方の説明と実践（対面）
第13回	グループワーク（６）（対面）
第14回	グループワーク（７）（対面）
第15回	最終報告会の実施（プレゼンテーションと質疑応答）、レポートの提出、まとめ（講評、総括）（対面）

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/32.0, 1.0/1.0,
時間割コード / Time schedule code	202505810030B5	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（環境） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	馬越 孝道 / Umakoshi Koudou		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	馬越 孝道 / Umakoshi Koudou		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	馬越 孝道 / Umakoshi Koudou		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 編入学生教養教育科目認定単位, 教養ゼミナール科目, 教職に関する科目（第2欄）, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	環境科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	担当教員に確認すること		
担当教員研究室/Office	各担当教員の研究室については、学生便覧を参照すること		
担当教員TEL/Tel	担当教員に確認すること		
担当教員オフィスアワー/Office hours	担当教員に確認すること		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文社会科学的または自然科学的な思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。 以上の授業概要及び位置づけに基づき、授業内容では以下を取り上げる。 自主的な学びの仕組み（アクティブラーニングとは何か、学修ポートフォリオの位置づけ、総合評価、各学部・コースのディプロマポリシーの周知、カリキュラムマップ・ツリーの説明） 文章の書き方（アカデミック・ライティング、クリティカル・ライティング） 文章の読み方（クリティカル・リーディング） 情報リテラシーとモラル（引用の仕方、不正行為（剽窃・盗用）、情報リテラシー、教員への質問の仕方（研究室の訪問の仕方、オフィスアワーとは何か、メールの書き方を含む）） 著作権 生成AIの概念と応用 社会におけるデータ・AI等の活用事例 図書館資料収集ガイダンス 課題発見、リサーチクエスト、問題関心（テーマ）の選択など プレゼンテーションの方法 ディスカッションの方法		
授業到達目標 / Course goals	論理的・批判的に物事を考えることができる。（環境科学部DP-2） 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。（環境科学部DP-5） ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自己表現ができるようになる。（環境科学部DP-2）		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで） / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		

学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取り組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加（2点×15回＝30点）＋中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答（20点×2回＝40点）＋レポート（30点×1回）＝合計100点のうち60点を合格とする。
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：グループワークとしての情報収集、資料作成、情報共有、問題点提起のための思考（1h） 事後学習：グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく、情報・資料の質の吟味＋演習での教授事項の振り返り（復習）（1h）
キーワード/Keywords	人文社会科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、自己表現能力
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ、必要があれば随時指示する。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション：担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明、消費者教育等（対面）
第2回	環境科学入門：担当教員による学部教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど（対面）
第3回	国際交流委員会による留学案内（オンデマンド）
第4回	グループ分け、グループワークテーマの決定（対面）
第5回	グループワークの開始（１）（対面）
第6回	図書館資料収集ガイダンス（対面）
第7回	グループワーク（２）（対面）
第8回	グループワーク（３）（対面）
第9回	グループワーク（４）（対面）
第10回	著作権教育（対面）
第11回	生成AIの概念と応用、社会におけるデータ・AI等の活用事例に関する教育（対面）
第12回	グループワーク（５）、教務委員会によるポートフォリオの使い方の説明と実践（対面）
第13回	グループワーク（６）（対面）
第14回	グループワーク（７）（対面）
第15回	最終報告会の実施（プレゼンテーションと質疑応答）、レポートの提出、まとめ（講評、総括）（対面）

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/32.0, 1.0/1.0,
時間割コード / Time schedule code	202505810030B6	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（環境） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	中川 啓 / Nakagawa Kei		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	中川 啓 / Nakagawa Kei		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	中川 啓 / Nakagawa Kei		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 編入学生教養教育科目認定単位, 教養ゼミナール科目, 教職に関する科目（第2欄）, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	環境科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kei-naka▲nagasaki-u.ac.jp（メールをする際は、▲を@に置き換えてください。）		
担当教員研究室/Office	環346（環境地下水学研究室）		
担当教員TEL/Tel	095-819-2763		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時、あらかじめ問い合わせること		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文社会科学的または自然科学的な思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。 以上の授業概要及び位置づけに基づき、授業内容では以下を取り上げる。 自主的な学びの仕組み（アクティブラーニングとは何か、学修ポートフォリオの位置づけ、総合評価、各学部・コースのディプロマポリシーの周知、カリキュラムマップ・ツリーの説明） 文章の書き方（アカデミック・ライティング、クリティカル・ライティング） 文章の読み方（クリティカル・リーディング） 情報リテラシーとモラル（引用の仕方、不正行為（剽窃・盗用）、情報リテラシー、教員への質問の仕方（研究室の訪問の仕方、オフィスアワーとは何か、メールの書き方を含む）） 著作権 生成AIの概念と応用 社会におけるデータ・AI等の活用事例 図書館資料収集ガイダンス 課題発見、リサーチクエスト、問題関心（テーマ）の選択など プレゼンテーションの方法 ディスカッションの方法		
授業到達目標/Course goals	論理的・批判的に物事を考えることができる。（環境科学部DP-2） 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。（環境科学部DP-5） ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自己表現ができるようになる。（環境科学部DP-2）		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		

学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取り組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加（2点×15回＝30点）＋中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答（20点×2回＝40点）＋レポート（30点×1回）＝合計100点のうち60点を合格とする。
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：グループワークとしての情報収集、資料作成、情報共有、問題点提起のための思考（1h） 事後学習：グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく、情報・資料の質の吟味＋演習での教授事項の振り返り（復習）（1h）
キーワード/Keywords	人文社会科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、自己表現能力
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ、必要があれば随時指示する。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション：担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明、消費者教育等（対面）
第2回	環境科学入門：担当教員による学部教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど（対面）
第3回	国際交流委員会による留学案内（オンデマンド）
第4回	グループ分け、グループワークテーマの決定（対面）
第5回	グループワークの開始（１）（対面）
第6回	図書館資料収集ガイダンス（対面）
第7回	グループワーク（２）（対面）
第8回	グループワーク（３）（対面）
第9回	グループワーク（４）（対面）
第10回	著作権教育（対面）
第11回	生成AIの概念と応用、社会におけるデータ・AI等の活用事例に関する教育（対面）
第12回	グループワーク（５）、教務委員会によるポートフォリオの使い方の説明と実践（対面）
第13回	グループワーク（６）（対面）
第14回	グループワーク（７）（対面）
第15回	最終報告会の実施（プレゼンテーションと質疑応答）、レポートの提出、まとめ（講評、総括）（対面）

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/32.0, 1.0/1.0,
時間割コード / Time schedule code	202505810030B7	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（環境） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	朝倉 宏 / Asakura Hiroshi		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	朝倉 宏 / Asakura Hiroshi		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	朝倉 宏 / Asakura Hiroshi		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 編入学生教養教育科目認定単位, 教養ゼミナール科目, 教職に関する科目（第2欄）, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	環境科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	担当教員に確認すること		
担当教員研究室/Office	各担当教員の研究室については、学生便覧を参照すること		
担当教員TEL/Tel	担当教員に確認すること		
担当教員オフィスアワー/Office hours	担当教員に確認すること		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文社会科学的または自然科学的な思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。 以上の授業概要及び位置づけに基づき、授業内容では以下を取り上げる。 自立的な学びの仕組み（アクティブラーニングとは何か、学修ポートフォリオの位置づけ、総合評価、各学部・コースのディプロマポリシーの周知、カリキュラムマップ・ツリーの説明） 文章の書き方（アカデミック・ライティング、クリティカル・ライティング） 文章の読み方（クリティカル・リーディング） 情報リテラシーとモラル（引用の仕方、不正行為（剽窃・盗用）、情報リテラシー、教員への質問の仕方（研究室の訪問の仕方、オフィスアワーとは何か、メールの書き方を含む）） 著作権 生成AIの概念と応用 社会におけるデータ・AI等の活用事例 図書館資料収集ガイダンス 課題発見、リサーチクエスション、問題関心（テーマ）の選択など プレゼンテーションの方法 ディスカッションの方法		
授業到達目標 / Course goals	論理的・批判的に物事を考えることができる。（環境科学部DP-2） 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。（環境科学部DP-5） ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自己表現ができるようになる。（環境科学部DP-2）		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで） / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		

学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取り組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加（2点×15回＝30点）＋中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答（20点×2回＝40点）＋レポート（30点×1回）＝合計100点のうち60点を合格とする。
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：グループワークとしての情報収集、資料作成、情報共有、問題点提起のための思考（1h） 事後学習：グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく、情報・資料の質の吟味＋演習での教授事項の振り返り（復習）（1h）
キーワード/Keywords	人文社会科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、自己表現能力
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ、必要が有れば随時指示する。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	朝倉宏：建設コンサルタント勤務の経験から得られた廃棄物処理計画策定に関する授業内容を実施する。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション：担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明、消費者教育等（対面）
第2回	環境科学入門：担当教員による学部教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど（対面）
第3回	国際交流委員会による留学案内（オンデマンド）
第4回	グループ分け、グループワークテーマの決定（対面）
第5回	グループワークの開始（１）（対面）
第6回	図書館資料収集ガイダンス（対面）
第7回	グループワーク（２）（対面）
第8回	グループワーク（３）（対面）
第9回	グループワーク（４）（対面）
第10回	著作権教育（対面）
第11回	生成AIの概念と応用、社会におけるデータ・AI等の活用事例に関する教育（対面）
第12回	グループワーク（５）、教務委員会によるポートフォリオの使い方の説明と実践（対面）
第13回	グループワーク（６）（対面）
第14回	グループワーク（７）（対面）
第15回	最終報告会の実施（プレゼンテーションと質疑応答）、レポートの提出、まとめ（講評、総括）（対面）

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/32.0, 1.0/1.0,
時間割コード / Time schedule code	202505810030B8	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（環境） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	白川 誠司 / Seiji Shirakawa		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	白川 誠司 / Seiji Shirakawa		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	白川 誠司 / Seiji Shirakawa		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 編入学生教養教育科目認定単位, 教養ゼミナール科目, 教職に関する科目（第2欄）, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	環境科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	担当教員に確認すること		
担当教員研究室/Office	各担当教員の研究室については、学生便覧を参照すること		
担当教員TEL/Tel	担当教員に確認すること		
担当教員オフィスアワー/Office hours	担当教員に確認すること		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文社会科学的または自然科学的な思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。 以上の授業概要及び位置づけに基づき、授業内容では以下を取り上げる。 自立的な学びの仕組み（アクティブラーニングとは何か、学修ポートフォリオの位置づけ、総合評価、各学部・コースのディプロマポリシーの周知、カリキュラムマップ・ツリーの説明） 文章の書き方（アカデミック・ライティング、クリティカル・ライティング） 文章の読み方（クリティカル・リーディング） 情報リテラシーとモラル（引用の仕方、不正行為（剽窃・盗用）、情報リテラシー、教員への質問の仕方（研究室の訪問の仕方、オフィスアワーとは何か、メールの書き方を含む）） 著作権 生成AIの概念と応用 社会におけるデータ・AI等の活用事例 図書館資料収集ガイダンス 課題発見、リサーチクエスション、問題関心（テーマ）の選択など プレゼンテーションの方法 ディスカッションの方法		
授業到達目標 / Course goals	論理的・批判的に物事を考えることができる。（環境科学部DP-2） 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。（環境科学部DP-5） ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自己表現ができるようになる。（環境科学部DP-2）		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで） / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		

学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取り組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加（2点×15回＝30点）＋中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答（20点×2回＝40点）＋レポート（30点×1回）＝合計100点のうち60点を合格とする。
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：グループワークとしての情報収集、資料作成、情報共有、問題点提起のための思考（1h） 事後学習：グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく、情報・資料の質の吟味＋演習での教授事項の振り返り（復習）（1h）
キーワード/Keywords	人文社会科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、自己表現能力
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ、必要があれば随時指示する。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション：担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明、消費者教育等（対面）
第2回	環境科学入門：担当教員による学部教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど（対面）
第3回	国際交流委員会による留学案内（オンデマンド）
第4回	グループ分け、グループワークテーマの決定（対面）
第5回	グループワークの開始（１）（対面）
第6回	図書館資料収集ガイダンス（対面）
第7回	グループワーク（２）（対面）
第8回	グループワーク（３）（対面）
第9回	グループワーク（４）（対面）
第10回	著作権教育（対面）
第11回	生成AIの概念と応用、社会におけるデータ・AI等の活用事例に関する教育（対面）
第12回	グループワーク（５）、教務委員会によるポートフォリオの使い方の説明と実践（対面）
第13回	グループワーク（６）（対面）
第14回	グループワーク（７）（対面）
第15回	最終報告会の実施（プレゼンテーションと質疑応答）、レポートの提出、まとめ（講評、総括）（対面）

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/32.0, 1.0/1.0,
時間割コード / Time schedule code	202505810030B9	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（環境） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	中山 智喜 / Tomoki Nakayama		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	中山 智喜 / Tomoki Nakayama		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	中山 智喜 / Tomoki Nakayama		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 編入学生教養教育科目認定単位, 教養ゼミナール科目, 教職に関する科目（第2欄）, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	環境科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	担当教員に確認すること		
担当教員研究室/Office	各担当教員の研究室については、学生便覧を参照すること		
担当教員TEL/Tel	担当教員に確認すること		
担当教員オフィスアワー/Office hours	担当教員に確認すること		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文社会科学的または自然科学的な思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。 以上の授業概要及び位置づけに基づき、授業内容では以下を取り上げる。 自立的な学びの仕組み（アクティブラーニングとは何か、学修ポートフォリオの位置づけ、総合評価、各学部・コースのディプロマポリシーの周知、カリキュラムマップ・ツリーの説明） 文章の書き方（アカデミック・ライティング、クリティカル・ライティング） 文章の読み方（クリティカル・リーディング） 情報リテラシーとモラル（引用の仕方、不正行為（剽窃・盗用）、情報リテラシー、教員への質問の仕方（研究室の訪問の仕方、オフィスアワーとは何か、メールの書き方を含む）） 著作権 生成AIの概念と応用 社会におけるデータ・AI等の活用事例 図書館資料収集ガイダンス 課題発見、リサーチクエスション、問題関心（テーマ）の選択など プレゼンテーションの方法 ディスカッションの方法		
授業到達目標 / Course goals	論理的・批判的に物事を考えることができる。（環境科学部DP-2） 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。（環境科学部DP-5） ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自己表現ができるようになる。（環境科学部DP-2）		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで） / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■ 主体性 / Autonomy ■ 協働性 / Cooperativeness ■ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		

学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取り組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加（2点×15回＝30点）＋中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答（20点×2回＝40点）＋レポート（30点×1回）＝合計100点のうち60点を合格とする。
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：グループワークとしての情報収集、資料作成、情報共有、問題点提起のための思考（1h） 事後学習：グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく、情報・資料の質の吟味＋演習での教授事項の振り返り（復習）（1h）
キーワード/Keywords	人文社会科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、自己表現能力
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ、必要があれば随時指示する。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション：担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明、消費者教育等（対面）
第2回	環境科学入門：担当教員による学部教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど（対面）
第3回	国際交流委員会による留学案内（オンデマンド）
第4回	グループ分け、グループワークテーマの決定（対面）
第5回	グループワークの開始（１）（対面）
第6回	図書館資料収集ガイダンス（対面）
第7回	グループワーク（２）（対面）
第8回	グループワーク（３）（対面）
第9回	グループワーク（４）（対面）
第10回	著作権教育（対面）
第11回	生成AIの概念と応用、社会におけるデータ・AI等の活用事例に関する教育（対面）
第12回	グループワーク（５）、教務委員会によるポートフォリオの使い方の説明と実践（対面）
第13回	グループワーク（６）（対面）
第14回	グループワーク（７）（対面）
第15回	最終報告会の実施（プレゼンテーションと質疑応答）、レポートの提出、まとめ（講評、総括）（対面）

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/32.0, 1.0/1.0,
時間割コード / Time schedule code	202505810030C1	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（環境） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	河本 和明 / Kawamoto Kazuaki		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	河本 和明 / Kawamoto Kazuaki		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	河本 和明 / Kawamoto Kazuaki		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 編入学生教養教育科目認定単位, 教養ゼミナール科目, 教職に関する科目（第2欄）, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	環境科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kazukawa▲nagasaki-u.ac.jp（メールをする際は、▲を@に置き換えてください。）		
担当教員研究室/Office	環境科学部 環231-2		
担当教員TEL/Tel	095-819-2758		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜 10:30-12:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文社会科学的または自然科学的な思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。 以上の授業概要及び位置づけに基づき、授業内容では以下を取り上げる。 自立的な学びの仕組み（アクティブラーニングとは何か、学修ポートフォリオの位置づけ、総合評価、各学部・コースのディプロマポリシーの周知、カリキュラムマップ・ツリーの説明） 文章の書き方（アカデミック・ライティング、クリティカル・ライティング） 文章の読み方（クリティカル・リーディング） 情報リテラシーとモラル（引用の仕方、不正行為（剽窃・盗用）、情報リテラシー、教員への質問の仕方（研究室の訪問の仕方、オフィスアワーとは何か、メールの書き方を含む）） 著作権 生成AIの概念と応用 社会におけるデータ・AI等の活用事例 図書館資料収集ガイダンス 課題発見、リサーチクエスト、問題関心（テーマ）の選択など プレゼンテーションの方法 ディスカッションの方法		
授業到達目標/Course goals	論理的・批判的に物事を考えることができる。（環境科学部DP-2） 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。（環境科学部DP-5） ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自己表現ができるようになる。（環境科学部DP-2）		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		

学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取り組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加（2点×15回＝30点）＋中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答（20点×2回＝40点）＋レポート（30点×1回）＝合計100点のうち60点を合格とする。
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：グループワークとしての情報収集、資料作成、情報共有、問題点提起のための思考（1h） 事後学習：グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく、情報・資料の質の吟味＋演習での教授事項の振り返り（復習）（1h）
キーワード/Keywords	人文社会科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、自己表現能力
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ、必要があれば随時指示する。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション：担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明、消費者教育等（対面）
第2回	環境科学入門：担当教員による学部教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど（対面）
第3回	国際交流委員会による留学案内（オンデマンド）
第4回	グループ分け、グループワークテーマの決定（対面）
第5回	グループワークの開始（１）（対面）
第6回	図書館資料収集ガイダンス（対面）
第7回	グループワーク（２）（対面）
第8回	グループワーク（３）（対面）
第9回	グループワーク（４）（対面）
第10回	著作権教育（対面）
第11回	生成AIの概念と応用、社会におけるデータ・AI等の活用事例に関する教育（対面）
第12回	グループワーク（５）、教務委員会によるポートフォリオの使い方の説明と実践（対面）
第13回	グループワーク（６）（対面）
第14回	グループワーク（７）（対面）
第15回	最終報告会の実施（プレゼンテーションと質疑応答）、レポートの提出、まとめ（講評、総括）（対面）